

喫煙対策の基礎知識 その10

「FCTC COP10」

産業医科大学 名誉教授 大和 浩

「たばこの規制に関する世界保健機関枠組条約」では定期的に締約国会議（Conference of Parties）を開いており、2024年2月5～10日はその10回目、COP10がパナマで開催され「地球環境をタバコ（による土壌・大気・海洋汚染）から守ること、国境を越える広告・拡販・後援活動、エンターテインメントにおけるタバコ描写を問題とすること」について討議されました。

同じく国際条約であるパリ協定やラムサール条約などの締約国会議が開催されると新聞やニュースで紹介されます。しかし、「たばこ規制枠組条約」のCOP10が開催されたことは日本のニュースにはなりません。その理由はタバコ産業が新聞と報道番組に広告とコマーシャルを大量に掲載しているからです。

例えば右のテレビCM、若い2人がぶつかり合いながらプレゼンテーションを成功させてハイタッチ、最後に「ひとのときを想う JT」が表示される「謎のCM」が報道ステーションやニュース23など21時以降のすべてのニュース番組で流れています。

タバコはどこにも出てきません。以前のCMでは、タバコを吸おう口に咥えたら女の子が近寄ってきたのでタバコを箱に戻した、などタバコが画面に出てきていたのに・・・皆さんも「JT テレビCM」で最近のバージョンを視聴してみてください。一連の謎CMを観て「JTは人権や環境問題を啓発する会社」のような認識を持っている学生が発生するのも無理ありません。

「たばこの規制に関する世界保健機関枠組条約（Framework Convention on Tobacco Control: FCTC）」を広めていかねば、と改めて想いました。

